

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(問い合わせ先)
12月 11/29(水)~ 3(日)	ポーセリンペイント作品展 観覧時間:10:30~17:30(最終日は15:00まで)	第1・2展示室 無料	金井絵付教室 0422(44)1302 金井

太宰治展示室 三鷹の此の小さい家 (第3展示室) 観覧時間10:00~18:00 入場無料 \*2023年12月3日(日)まで

## 次回企画展のご案内

# HAIBARA Art & Design

## 和紙がおりなす日本の美

2023年 12.16〔土〕～2024年 2.25〔日〕



▲ 団扇絵〈酔後の亀〉柴田是真 木版多色摺

団扇絵〈ぐみに雪〉山村耕花 木版多色摺 ▼



日本橋に店舗を構える「榛原-はいばら-」は、1806(文化3)年に創業し熱海製雁皮紙(がんびし)をはじめとする高級和紙や、小間紙(こまがみ)と呼ばれる装飾用の加工紙(千代紙、書簡箋、熨斗ほか)などを販売してきました。18世紀の終わり頃から製造が開始された熱海製の雁皮紙は、墨の付きが良く緻密で上品な光沢があり、従来の楮(こうぞ)製の紙に代わる高級紙として江戸の数寄者たちに広く愛用されるようになります。雁皮紙を加工した和紙製品には、美しい彩色や同時代の画家による装飾が施され、榛原は上質かつ洗練された高級和紙舗(わがみほ)としての評判を得ます。

明治時代になると、高度な木版摺りの技術とデザイン性を兼ね備えた榛原の商品は、日本を代表する工芸品として海外から高く評価され、国内外の博覧会で受賞を重ねました。

今回の展覧会では、おもに明治から昭和初期にかけて榛原で製作された貴重な品々をご紹介します。河鍋暁斎(1831-1889)や川端玉章(1842-1913)が手がけた華やかな千代紙や、同時代の画家たちによる団扇(うちわ)や団扇絵、美しい絵柄の絵封筒や絵半切(便箋)は、当時の人々に身近で上質なく美との触れあいをもたらしました。

日本の紙文化と伝統木版画の流れを受け継ぐ小間紙の魅力と、豊かなデザインの数々をお楽しみください。  
※会期中、一部展示替えあり



▲ 千代紙〈色硝子〉 木版多色摺

- 【会場】 三鷹市美術ギャラリー  
 【開館時間】 午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)  
 【休館日】 月曜日(1月8日、2月12日は開館)、1月9日(火)、2月13日(火)、年末年始(12月29日～1月4日)  
 【観覧料】 一般600円 / 65歳以上、学生(高・大)300円  
 中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料  
 【主催】 三鷹市美術ギャラリー・  
 (公財)三鷹市スポーツと文化財団  
 【協力】 株式会社榛原-はいばら-



この催し物案内は、2023年11月20日にとりまとめたものです。内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。